

せいねんかいがいきょうりょくたい
青年海外協力隊
やまもと れいね
山本 麗音

なが れんきゅう お しゅうかん た せんげつ にほん げんごう へいせい れいわ か
長い連休が終わり、一週間が経ちました。先月のことですが、日本の元号が、平成から「令和」に変わりましたね。
にほん じだい か おお はい へいせい れいわ じだい てきごと
日本の時代が変わったという大きなニュースはナミビアにも入ってきていて、日本で大きな出来事があったんだな!と
ナミビア じん こえ を かけられる こと も あり ました。平成から令和、時代をまたぐなんて、なかなか出来ない経験ですね。
みなさん も 気持ち を 新たに 頑張っ て い きましょう。

ぶぞく
ナミビアの部族



こんかい は、ナミビアの部族について紹介したいと思います。

さて、このナミビアの国旗のデザインになっている太陽。この太陽の“とげとげ”はいくつあるでしょうか？数えてみましょう。上から順に、1・2・3…はい、全部で12ですね。実はこの12は、主な部族の数を表しています。部族とは、古くからその地域に住み、それぞれの言葉や文化を持って生活している人々の集まりのことです。

ナミビアの公用語(みんなが共通して使う言葉)は英語ですが、それぞれの部族にはそれぞれの言葉があるので、英語以外に、2つ3つ以上の言葉を話す人たちが多くいます。日本でいうと、日本語、英語、イタリア語、フランス語を使い分けられるようなイメージでしょうか。相手の部族に合わせて話す言葉を変えるナミビア人は、すごいなあいつも感心します。中には、舌打ちを使う言葉もあり、はじめは怒っているのかな?!と、びっくりしました。

それでは写真と一緒に、いくつかの部族を見てみましょう。

1. オバンボ族・・・ナミビアの中で一番人口が多い部族で、民族衣装には、ピンク・黒・赤を使った布が使われます。



2. ダマラ族…ダマラ族はコエコエ語をいう言葉を話します。3. ヘレロ族…帽子が特徴的な形をしている衣装です。コエコエ語には4種類の古打ちが使われます。この中には新聞紙が入っているような…



そして最後に紹介したいのは、世界一美しいといわれているヒンバ族です。テレビで見たことがある人もいますのでは？

4. ヒンバ族…ナミビアの北西部に住んでいる部族で、一生お風呂に入らないそうです。その代わりに、オクラと呼ばれる、赤土と牛の脂を混ぜたものを体に塗ることで、肌を守ったりきれいにしたりしています。



↑村の入り口



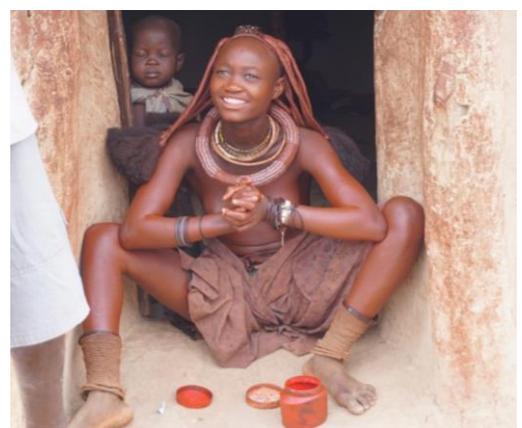
↑村の中にはいくつかのお家があり、みんなが集まって暮らしています。



↑料理は火を起こして作ります。



↑女性のヘアスタイルはこんな感じ。



↑オクラを塗って体をきれいにします。

ヒンバ族の人たちは、私たちが着るような服は着ていません。腰には動物の毛皮を巻いたり、寒い時は体に布を巻いたりします。電気は通っている地域もありますが、水は少しはなれた所まで毎日汲みに行くようです。世界中にはいろいろな人々が暮らし、それぞれに違った文化や生活、工夫があります。お互いの文化や違いを大切にできたらいいですね。